

学外用記入例

(公的機関・独法用)

【 分 析 参 考 资 料 】 整理番号

所 属 ・ 申 込 者 名 (教室主任者名) 鴨川大学 薬学研究科 山田 太郎

連 絡 先 住 所 〒 606-85xx
京都市左京区吉田下阿達町46-29

TEL (075) 753-4596

物 質 名 【略号】 ex-123 試料名は混同を防ぐため15文字程度以内で
わかりやすい名前をつけて下さい

融 点 : 沸 点 137.5 °C

希望分析種別 固体 液体 CHN O S Cl Br I F P

1) 含有元素名: C H N O
その他 (S, Fe(少量))

3) 構造式:

↑含有元素にマルをつけ、その他の欄へ
試料に含まれている元素種すべてを記入して下さい

2) 分子式: **C₇H₉NO₂S**

- ※ 申込用紙のコピーは不可です。
- ※ 黒系のボールペン又はサインペンで記入して下さい。(印刷も可)
- ※ ミシン目部分以外は折らないで下さい。
- ※ 複数の元素を分析する場合も試料の提出は一つで結構です。(不安定な物質を除く)

4) 予想含有率: H = 5.30 % C = 49.10 % N = 8.18 % O = 18.69 % S = 18.73 % Cl = 0 %
Br = % = %
水素、炭素が2%以下または85%以上の場合、大まかな数字で結構ですので
(1%、2%、90%、100%等整数で可) 予想含有率のご記入をお願いいたします。

5) 物理・化学的性質: 吸湿性 空気酸化 揮発性 昇華性 爆発性 難燃性 その他 ()

6) その他の希望事項: 冷暗所保存 遮光保存 冷凍保存 その他 ()

7) 供試可能量は10mg以上ありますか? (※) : 有 無 (無の場合約 5 mg 分析優先順位: S, CHN, Cl)

↑試料が10mgに満たない場合は、分析元素が複数ある場合、まず一回ずつ分析をいたしますが
一回分も量り取れない場合がありますので、10mg用意できない場合はご記入下さい。
記入がない場合はCHNを優先します。

【 分 析 結 果 】

試料量 (mg)	H (%)	C (%)	N (%)
予想含有率 (%)			

試料量 (mg)	O (%)	P (%)
予想含有率 (%)		

【備 考】

試料量 (mg)	F (%)	Cl (%)	S (%)
予想含有率 (%)			

試料量 (mg)	Br (%)	試料量 (mg)	I (%)
予想含有率 (%)		予想含有率 (%)	

分析報告日 年 月 日

京都市左京区吉田下阿達町 京都大学 薬学研究科内

京都大学有機微量元素分析総合研究施設

整理番号

<< C H N 分析 >>

分	試料量	H%	C%	N%	特記

分析日 年 月 日

<< O · I · P 分析 >>

分	試料量	O%	I%	P%	特記

分析日 年 月 日

<< F · Cl · Br · S 分析 >>

分	試料量	F%	Cl%	Br%	S%

【特記事項】

分析日 年 月 日

有機微量元素分析依頼申込書

整理番号 **必ず押印**

(括弧内は京都大学申込者)

申込者名 (教室主任者名)

山田 太郎



〒606-85xx

京都市左京区吉田下阿達町46-29

連絡先 鴨川大学 薬学研究科

(分析結果受取人所属氏名)

TEL (075) 753-4596

請求書または領収書の宛名を記入して下さい

請求先 鴨川大学 薬学研究科 山田太郎

(請求書の宛名)

固体試料 液体試料 CHN O S Cl Br I F P

試料を添えて上記分析を依頼致します。

分析料金 円を

学外: 現金 請求書

原則として請求書にてのお支払になります。

予算振替 (運営交付金)

により納付致します。

西暦 20 年 月 日

京都市左京区吉田下阿達町 京都大学 薬学研究科内

京都大学有機微量元素分析総合研究施設 御中

上記の分析依頼申込みを承認します。 施設

→ (※) 分析種別ごとに10mg必要です。

【連絡事項】

連絡用メモとしてご使用下さい。

- ・ 分析結果送付先
- ・ 分析に関する問い合わせ先
- ・ 請求書の送付先

が異なる場合はここに記載して下さい。